

嬉泉の新聞

嬉泉の新聞／第15号／1990年（平成2年）3月10日発行（年3回発行）

発行所＝社会福祉法人嬉泉・東京都世田谷区船橋1-30-9（〒156）

T E L 03-426-2323

発行人＝石井哲夫 編集人＝友田篤

自閉症研究と動物実験

山崎 晃資

自閉症の原因に、脳の機能的な成熟の遅れないしは障害が深く関与しているという考え方には、世界的な趨勢となっている。しかし、精神機能の生物学的な解明が充分になされていない現状では、その考え方には未だに仮説の段階にとどまっているといわざるをえない。

2年ほど前、NHKの教育番組で「ザ・ブレイン」が放映され、大きな反響を呼んだことを記憶している方は多いと思う。ブラック・ボックスといわれていた脳の仕組みが、どこまで解明されているのかを知り、目を見張る思いであった。しかし、急速に進む癌や免疫の研究とは違って、人間の精神機能に関する研究には、さまざまな限界がある。動物をモデルとした癌や免疫の研究は、最近では遺伝子レベルで論じられるようになり、それらの知見が臨床に応用され始めている。しかし、人間の精神機能の研究では、そう簡単にことは運ばない。動物の行動パターンをそのまま人間の行動パターンに当てはめ、精神機能を論ずるには多くの問題があるからである。

動物実験のなかで、ラットは最も頻繁に用いられるものである。最近では、「学習障害ラット」、「多動ラット」、「高知能ラット」などが作製され、高次精神機能を検討する格好のモデルとして用いられている。ある行動と関連する脳の部位の働きや、その部位の特有な精神化学的所見が蓄積され始めている。しかし、これらの知見は、断片的な事実を積み重ねているものであり、どう考へて

も、ラットで得られた所見から人間の精神機能を解明し得るとは思えない。自閉症ラット」がいるとしたら、どんな「症状」をもち、どんな「パニック」の起し方をするのだろうか。自閉症児の特有な話し方が、ラットではどのような行動として観察されるのだろうか。

自閉症の医学が、なかなか思うように進まぬのも仕方のないことかもしれない。そうはいっても、人間の精神機能に関する研究は、飛躍的に発展し、「精神科学の時代」といわれる21世紀には、明らかに射程距離内に入ってくると予想されている。自閉症児の示す行動の一つ一つが、どのような生物学的背景をもっているのかが解明され、原因論的な治療が的確になされる日もそう遠くはないのかもしれない。遺伝子のどこかが脆くなっていて、条件の悪い環境に曝され続け、ストレスが与えられ続けると、自閉症の特有な症状が形成されてくる様子が、コンピューターのシミュレーション画面に映し出されることになるかもしれない。

だが、人間の精神機能の仕組みが、科学的に解明されることを手放して喜んでもいられない。人間は、時に、とんでもないことを考え、実行するものである。SFテレビに登場するサイボーグはその良い例である。人間の觀知が、科学の進歩を本当に享受できるだけ力強いものであることを期待するこの頃である。

（東海大学医学部精神科教授）

1990年3月10日

私の教え子の中で社会福祉施設の施設長になっている人が数多くなったようである。時折、何かの会合で出会い、「施設運営」に関して話合うことがある。先日も秋田の陽成学園園長の村上耕治君に出会った。彼はかつて私の所で働いていたこともあって、その関係もかなり深いものがある。当時の私は、彼が社大で私のゼミにいたこともあっていつも子ども扱いにしていました。それが近頃になつて、いろいろ目を見張るようなことを教えてくれるようになつたのである。

彼は、私のことをどう思つているか知らないが、私のところを去つて、ある施設に入り込んだり、あるいは感覚統合の研究会の幹事役をつとめたりしていたらしい。

私が彼を何かでひどく叱つたことがあって(後から考えると、彼に落度があつたわけではないが)、私は、彼が反抗的に私とは異なる考え方へ走つていったと思っていた。

その後はじめての彼との出会いは、三菱財團の審査の時であった。委員の評価もよく、財團の援助がきまりかけた時、葛西嘉資委員長が「この申請の村上君は、石

井君の教え子と言つじゃないか、君よく事情を調べて来てくれよ。」という話が出たのであった。もちろん彼は事前に私に相談があつたわけではなく、フリーハンドで申請したので、私もあまりその実情を知らないでいたのであつた。

そして、現地においてはじめて彼の仕事ぶりを知るに至るのであつた。

率直に言って、子どもの生活研究所にいた時の彼は、その経営能力について私に示していなかつた。

一方において現実には、厳しい措置費制度の枠組みを狭くしてしまった地方自治体の監査が行われている。

今、ここに村上君のような若い人たちは応援を得て小さなお店を出したりといつような経営の才能を發揮している。

このような文章を書きながら、もう一人書かなければと思いついた女性がいた。彼女は今井法子さんである。この人こそ、まさに力で、自閉症児者をはじめとした発達障害児者の援助機関を創設した人である。P.A.N.D.O.C.という(親と子どもという意味である)名前の機関であり、手刷りの機関紙も発刊している。それを読むと、よくまあ精力的に、親やボランティアを集めて、子どもたちのためになるような仕事を実践しているものかなと感動させられる。

これらの人々は、本当に自分の揮身の力を發揮する機会を自ら創り出していったと思えるのである。

何か私がそのきっかけをつくったとするならば、それは、私自身のお粗末なハングリーナ仕事の方を見せたというのかも知れない

のであった。ところが、彼の前施設、鷹の巣・大野学園を案内している彼の顔付、言葉には、すっかり経営者としての自信に溢れていたのである。彼はハングリーアンド・ドリームであり、全て自分の手から基金をうみ出すという感じであった。

私は、何故、この彼のハングリーリーを感じたかと言えば、かつての私がそうであったからである。最近、よく民間社会福祉施設にかける期待の一つとして、その経営能力の拡大の要請がある。

私たちの仲間から、真に民間的なエネルギー・シユな社会福祉の仕事を始めた人が沢山いる。亡くなつた小林和雄君にしても、関係保育を唱えて、地域の人たちの核となるような地域福祉実践を行つて来た。又村上勝彦君のように大江病院長から見込まれて、帯広で治療保育所を創設した人もいる

施設経営の創造性(その六)

石井哲夫

ハンガリーナ経営者の卵を登場させた理由は、私たちの初期の仕事内している彼の顔付、言葉には、が、まさに創造的でエネルギー・シユであったことを例証したからである。

私たちの仲間から、真に民間的なエネルギー・シユな社会福祉の仕事を始めた人が沢山いる。亡くなつた小林和雄君にしても、関係保育を唱えて、地域の人たちの核となるような地域福祉実践を行つて来た。又村上勝彦君のように大江病院長から見込まれて、帯広で治療保育所を創設した人もいる

し、花岡尚人君のように花岡総合教育研究所という大それた名前の純民間機関を創つて精力的な活動を行っている人もいる。更に佐瀬睦夫君は民間の家庭相談事業を始め、精薄者通園事業や、親の会の人たちの応援を得て小さなお店を出したりといつような経営の才能を發揮している。

このような文章を書きながら、もう一人書かなければと思いついた女性がいた。彼女は今井法子さんである。この人こそ、まさに力で、自閉症児者をはじめとした発達障害児者の援助機関を創設した人である。P.A.N.D.O.C.という(親と子どもという意味である)名前の機関であり、手刷りの機関紙も発刊している。それを読むと、よくまあ精力的に、親やボランティアを集めて、子どもたちのためになるような仕事を実践しているものかなと感動させられる。

これらの人々は、本当に自分の揮身の力を發揮する機会を自ら創り出していったと思えるのである。

私たちの

レポート

須藤福祉センター各事業所からの報告

子どもの生活研究所 事務室 小池 朗

子どもの生活研究所の事務室では、三名の職員が仕事をしています。事務の仕事は、三名で分担しているのですが、仕事の内容は、おおまかに言えば、受付・経理・その他諸々の庶務と言えます。しかし、実態は言葉では言い表せないほど複雑です。

この事務室で仕事をするようになつて、三年目も終わろうとしていますが、最初は何をしていいのか右も左も分からぬまま、気持ちだけが先走って内容が伴つていな状態が続いていました。それでも仕事だけはいつも次から次へとやってくると言う感じで、仕事の意味を考える余裕もないほど追われていました。

その中でも非常に大変なことは、子どもの生活研究所に通つてくる子どもたちと保護者の方の名前を覚えることです。考えてみれ

ば、百組以上の方々が通つてきているのですから、覚えようという気がなければ覚え切れないと私は思っています。しかし、社会福祉施設で働いている以上は、施設を利用している方々を知らないと言うのはあってはいけないことで、から、職員としては知つていていますが、当然であるとも言えます。受付をやつていると特にその事を強く感じます。

受付以外の仕事としては、子どもの生活研究所の各グループの事務的な仕事が大半を占めています。東京都や世田谷区と言つた関係機関に対し、補助金の請求をしたり、人員の報告をしたり、主に対外的な仕事が中心です。この面でも大事な点があると思います。

その一つの例として、関係機関との対応があります。関係機関との対応を行つていくこと

ても、数字的な面でしか状況を知つてもらうこと以外はなかなかできませんが、その資料が正確でなければ、その先、何をしても無駄になってしまふこともあります。そこで、仕事の背景にある意味を考えて仕事をすることが重要になります。



ある程度余裕を持って仕事ができるようになると、仕事に対する姿勢も変わってきます。仕事の意味を考え、理解できるようになると、仕事に対する姿勢もより能動的になり、より良い仕事になつてきます。

社会福祉施設で働いているといふことは、利用者自身と対していきことであるとも言えます。そのような仕事をしているならば、仕事を対する姿勢が受動的では利用者にとっても自分自身にとってもより良い仕事はできません。実際に現場で働いている直接処遇職員を援助し、いかに利用者に対しより良いサービスを提供していくのかを考えいくことが挙げられます。

その一つの例として、関係機関との対応があります。関係機関との対応を行つていくこと

きるようになつきました。一人一人がこの気持ちを忘れなければ、より良き仕事はいつまで続いていくのではないかと思ひますが、社会福祉施設では、それだけでは何か足りないのではないかと思ひます。

(めばえ学園書記)



中塚新園長

私は平成二年一月一日より森本照雄園長に代わり袖ヶ浦ひかりの学園の園長を仰せつかりました。これまで二十八年間、同じ千葉県にあります東京都立成東児童保健院で病弱、虚弱児の療育に携わって参りましたが、この度ひかりの学園で病弱、虚弱児の療育に携わることになりましたが、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じ上げます。

春の息吹をそこはかとなく感じる頃となりましたが、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じ上げます。

中塚 博勝
袖ヶ浦ひかりの学園
新園長よりのご挨拶

中塚 博勝

学園の一員として再出発することとなりました。皆様方のお力添えをいただきながら勤めて参りたいと存じます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

改めて申し上げるまでもなく、障害をもった方々に対する社会の認識や理解は決して十分とは言えません。ましてや自閉症に対する理解は、ごく一部の限られた方々だけにとどまっているのが現状です。そうした中で、自閉症児・者の福祉の向上をはかっていくことは多くの困難があります。これまで携わってきた病弱・虚弱児の療育指導を通して得たことがどれ程お役に立つかわかりませんが、利用者の皆さん、一人一人が日々の生活の中でいつも喜びを感じられるような施設作りを目指し、職員共々努力して参りたいと思っております。

前任者森本園長に賜りました御指導と御協力をどうぞ私にも賜りますようお願い申し上げ、「ごあいさつにかえさせていただきます。

嬉泉の出来事

自閉症児治療教育

実践講座開催される

社会福祉法人嬉泉の主催による第六回自閉症児治療教育実践講座は、さる二月九日～十日にかけて袖ヶ浦のびる・ひかりの学園の研修棟を会場に開催されました。

自閉症治療教育においては、様々なアプローチが試みられ多様な状況が展開していますが、自閉症研究・実践の進展にともない、治療技法の統合の気運が高まっています。今回は、石井所長をはじめ日本抱っこ法協会の阿部秀雄先生、精神発達障害指導教育協会の片倉信夫先生という臨床の第一線で活躍されている先生方をお招きし、自閉症児の情緒面に焦点をあて、療育の理論と技法の共通点・相違点を実演をはじめて講義していただき、自閉症療育の総合的な理論と技法をお話いただきました。

また、二日目に行われたシンポジウムでは、「治療技法の統合」情緒を中心としてテーマで先生方に基調となるお話をいただき、フロアーラーの参加者からの質問をじて活発な討論が展開されました。

(友田 篤)

親子の合同新年会

袖ヶ浦のびる・ひかりの学園で

は、昨年より新しい試みとして親子合同新年会が始められました。今年は去る一月三十一日の雪の降る中、ひかりの学園の中塚園長が生けたテーブル花を中心置いて、喜多主任の司会で始まりました。石井所長の開会の挨拶の後、利用者の人達・職員・保護者・しいの木の先生方からの挨拶や新年の言葉などをはさみながら、最後に保護者の宇佐美さんの音頭で万歳三唱をし、お開きとなりました。

昨年よりも大勢の保護者に参加していただき、賑やかな雰囲気の中、増やしたはずの料理もあり、保護者の宇佐美さんの音頭で万歳三唱をし、お開きとなりました。また、当日の会場準備には保護者の方がお手伝いください、新年会の装いのまま業者の指示のもととても良く働いてください、とても助かりました。

行事担当の係りとしては準備不足で保護者の方にはご迷惑をおかけしたことと思いますが、来年は内容的にももっと工夫をこらしてさらに賑やかで楽しい新年会を開くことができれば良いなあと想います。

(島田 满夫)

ひかりのタイムス

独立第9号

「ひかりのタイムス」の欄は、編集長は袖ヶ浦ひかりの学園利用者の山岸裕君で、編集人の友田と相談しながら、原稿や作品を学園の利用者や園児の人達から募集して編集しています。応募してくれた原稿については、加筆や訂正は一切しないで原文のまま山岸君に得意のワープロで清書してもらいました。その上で学園の利用者や園児の人達の作品の写真を掲載しています。この間、必要に応じて山岸君と打合わせしながら、作業をすすめています。前回の編集後記に彼の苦言がありましたが、編集をやる人間の気苦労は絶えないとのこと。編集も校正もまだまだ見習・実習の段階ですが、どうぞ暖かいご声援をお願いいたします。

親子合同新年会での

みなさんの抱負を語る

(川柳)

不透明九十年代

先行き見えない。

作者 山岸 裕

今年のほうふ

伊藤 訓育

今年は自転車としんめいに行きました。また今年こそキャラバン隊に行きたいです。
(袖ヶ浦ひかりの学園利用者)

親子合同新年会



今年のほうふ

秋山 良江

あけましておめでとうございます。

私は、今年、詩をたくさん作りま

すので、石井先生に頼んで曲をつけてもらつてLPを出してもらつ

といいと思います。

何故かというと、石井先生が作詞

作曲した歌がありますので、ぜひ

私の詩に曲をつけてもらうといいと思います。

石井先生の唄は「海の友」という歌と「飯の唄」という歌で、曲が

とても良い唄なので、私の書いた

台所仕事は食事に来る人が遅い人の食事が不足した時は調理補助を

二ユーロの代わりに弁当持ちで来るようになります。

頑張ってカウンターを行つたり来たりする事が省けるようにした

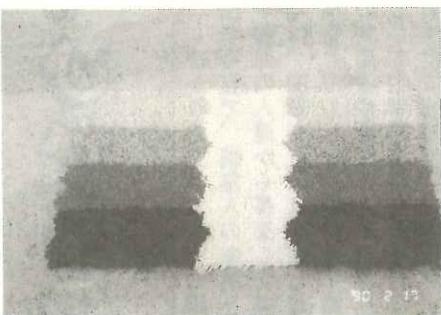
いつになるかわからぬけれど、整理室の仕事はおばさんが一人休んだ時、休んだおばさんの仕事と私の仕事と一人前働きたい。

人休んだ時、休んだおばさんの仕事と私の仕事と一人前働きたい。

整理室の仕事はおばさんが一人休んだ時、休んだおばさんの仕事と私の仕事と一人前働きたい。

私はいざという時、普段の時より大活躍したい。

食事に来る人が遅い人の食事が不足の時はいざという緊急の時と同じであると見て居ます。



三町朱子さんの作品

詩に良い曲をつけてもらおうといふのです。それからあと、私は今年パンの作業をやりたいと思います。これは私の希望です。

(袖ヶ浦のびろ学園園児)

今年のほう

工藤由木子

あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。今年になって生活が変わった事は機織りとカンパニーとおやつ作りです。去年は陶芸を3年間とおやつ配りでしたが卒業して新しい生活が始まったという事です。ひよこの喫茶室と販売も始めました。ひよこではウエーテレスさんで

3月24日
あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ致します。今年になって生活が変わった事は機織りとカンパニーとおやつ作りです。去年は陶芸を3年間とおやつ配りでしたが卒業して新しい生活が始まったという事です。ひよこの喫茶室と販売も始めました。ひよこではウエーテレスさんで

キを運んでサービスをいたします。マドレーヌとクッキーとカルピスゼリーとホットケーキとチョコレートムースです。これからも張り切って続けます

(袖ヶ浦ひかりの学園利用者)

新年会の感想

秋山 良江

新年会はとてもぎやかで楽しかったです。あと私は発表の時、自分で詩に曲を付けてもらつて歌にしてもらえばいいと思います。あと発表したい事は、今年、パンの作業をやりたいと言うことで

それから、スヤちゃんのメロンパンは、ヤマザキパンとかフジパンとはエーキドーパンとか第一パンとかのメロンパンよりずうっと美味しいです。今度ぜひ、私もスヤちゃんのクリームパンとメロンパンを買いたいです。

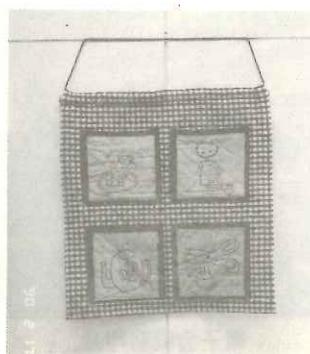
(袖ヶ浦のびろ学園園児)

九〇年代の目標

田中 雅也

今年の9月23日日曜日で、僕は、28歳で、今年の3月1日木曜日で、千葉県袖ヶ浦町へ始めていつから、満11周年、となりますが

竹内久乃さんの作品



きを運んでサービスをいたしました。マドレーヌとクッキーとカルピスゼリーとホットケーキとチョコレートムースです。これからも張り切って続けます

(袖ヶ浦ひかりの学園利用者)

竹内久乃さんの作品

竹内久乃さんは、去年まで注意された事は、これらは何とかして、無いように、したい。又、ひかりの学園に、在籍の時は、バザーも職員のみとかもつと仕事を増やしながら、やってみたいですが、子供の生活研究所の仕事も、パン販売と切手とほんこ押しだけじゃなくて、もつと出来る範囲の仕事を増やしたい。不動産屋さんだけではなくて、いろんな店でいろんな仕事をやりたい。今の東京杉並区高井戸東の実家に、親と生活しているのもむずかしいから何とかして、のびろひかりの子研の嬉泉の職員が住んでいる家の隣の家に、一人住まいとか生活全体を僕の普通の人なみにしたい。これまで、だけども、物わかりの良い、もちろんどんな話してもついて行けるどんな話しにも乗れる魅力な友達がほしい。これからは何とかして、のびろひかりのには、生活全体にして、まったく行かないでよろしいようになつた。給料をもらうのも出来ても都会の町の中で、大変差もあまりないのでやりたいです。これまで。(袖ヶ浦ひかりの学園利用者)